

買うほどおトク。まちで使えるポイント還元
ガキペイマネー 3%ポイント還元キャンペーン

デジタル地域通貨「ガキペイ」にクレジットカードでチャージした「ガキペイマネー」でお支払いいただくと、決済金額の3%をガキペイポイントで還元します。市内のお店でのお買い物に、ぜひご利用ください。

- ▶期間／11月2日(月)～12月25日(金)
- ▶還元率／決済金額の3%(ガキペイポイントで付与)
- ▶上限／1人1,000ポイント(予算上限に達し次第、予告なしに終了)
- ▶付与時期／決済の7日後(有効期限は付与後6か月)
- ▶備考／①大垣市商店街プレミアム付商品券やガキペイポイントでのお支払いは対象外です
②大垣市商店街プレミアム付商品券とガキペイマネー残高をアプリ上で合算してのお支払いはできません
③ガキペイマネー残高の有効期限は、チャージ後6か月間です
- ▶問合せ／アプリのご利用方法などについては、市HPをご覧ください。か、「ガキペイ」サポートセンター(☎0120-963-894)へ



障害福祉サービス事業所に初めて就労している
居宅介護職員に奨励金を交付します

- ▶対象／次の①～④すべてを満たす市内在住の人
①令和4年4月1日以降に障害福祉サービス事業所に初めて就労している
②就労日以降、6か月以上継続して居宅介護職員(常勤・非常勤は問わない)として月15日以上勤務し、かつ申請時に勤務を継続している
③障害福祉サービス事業所に直接雇用されている
④市税などを完納し、大垣市介護人材就労支援奨励金を受給していない
- ▶対象障害福祉サービス事業所／市内の居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援を行う事業所
- ▶奨励金額／5万円(1回限り)
- ▶申込／申請書(市HPからダウンロード可)に必要事項を記入し、障がい福祉課(☎47-7162)へ



夏休みの作品展 上位入賞 おめでとう！

市内の小・中・高校生の皆さんが、夏休みに取り組んだ研究やポスターなどの作品の上位入賞者を紹介します＝敬称略＝。

未来の科学の夢絵画展

【特選】伊藤恵(青墓小2)、松原誠治(北小3)、吉平悠乃(北小3)、安福和歩(小野小4)、三宅志乃(小野小4)、小森奏歩(南小5)、齋藤正晃(東小6)、谷口紅璃(西中1)、齋藤史明(東中2)

発明くふう展

- ◆県知事賞／山本帆乃花(宇留生小2)
- ◆県議会議長賞／粥川敬士(宇留生小3)
- ◆市長賞／後藤悠希(宇留生小3)
- ◆市議会議長賞／山本新太(宇留生小5)
- ◆県発明協会賞／若園晃汰(北小3)
- ◆県教育委員会賞／小川寛将(中川小2)
- ◆市教育長賞／高橋奏太(宇留生小6)
- ◆大垣商工会議所会頭賞／山崎結翔(東中1)

防火ポスター展

- ◆市長賞／縣胡々那(東中1)
- ◆市議会議長賞／野々山杏慈(青墓小3)
- ◆市教育長賞／栗野栞(南中2)
- ◆大垣消防組合消防長賞／中島香都(西小6)
- ◆市防火防災協会会長賞／櫻井雅(西中2)、松原羽南(南中3)
- ◆大垣危険物安全協会会長賞／伊藤芽生(西中1)、藤埴咲来(興文小4)
- ◆市消防協会賞／今津心菜(西中2)
- ◆市少年消防クラブ運営指導協議会長賞／内野颯咲(赤坂小5)、高橋和月(東小5)
- ◆市女性防火クラブ連絡協議会長賞／今井寿珠(南中3)

児童生徒科学作品展

【最優秀賞】前田夏臣(静里小1)、本田洋士郎(北小2)、鷺見朱音(小野小2)、田中秀明(北小3)、古田絢音(上石津学園3)、細江桜杏(興文小4)、古田志織(上石津学園5)、三輪優仁(墨俣小6)、吉岡花(南中1)、小山内誠晴(南中3)

社会科課題追究学習作品展

【最優秀賞】村上遥奏(興文小3)、北島有乙音(興文小5)、村上清奏(興文小6)、内藤陽菜(綾里小5)、伊藤麻理愛(上石津学園3)

明るい選挙啓発ポスター展

【金賞】石川結奈(西小6)、高相結生(北中1)、木村実音(大垣商業高2)

【銀賞】田中蓮(興文小5)、北島有乙音(興文小5)、安藤七海(星和中2)、長尾静(星和中2)、棚橋実莉(大垣商業高2)、高橋琉慈(大垣商業高2)

【銅賞】内田侑里(西小6)、出口怜奈(北小6)、藤本祐香(西中1)、安田歩生(西中1)、小野由衣伽(大垣商業高2)、木全優慎(大垣商業高2)

統計グラフ作品展

【特選】杉本結彩(興文小5)、高橋杏莉(南小6)、川地杏奈(南小6)、栗野董(安井小2)、本田彩葉(宇留生小3)、種田栞音(東中3)、栗野栞(南中2)、尾関右京(星和中1)

市民病院・豊田院長の 心不全と心臓弁膜症
健康コラム No.31 ~多くの高齢者が直面する心不全を少しでも防ぐために~

皆さん、こんにちは。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第31回をお届けします。

今回は今後多くの高齢者が直面するといわれている心不全の話をします。心臓は肺できれいになった血液を全身にくまなく行き渡らせるために、常に血液を送り出すポンプの働きをする臓器です。心臓の力が衰えると酸素や栄養を含んだきれいな血液が十分に全身に送り出せなくなり、息苦しさや倦怠感などの症状が出ます。また、心臓に戻る血液も滞り、むくみなどの原因にもなります。これが心不全の状態です。

心臓は1日に約10万回も拍動して血液を全身に送り出しており、単純計算すると、例えば還暦を迎えた頃には20億回以上の拍動を繰り返していることになります。こぶし大の大きさしかない心臓が体の全体に血液を送るのは相当大変な作業で、高齢になってこれを何億回も続けているうちに、さすがの心臓も弱ってきます。

また、年相応以上に心臓を弱らせる原因がいくつかあります。心筋梗塞などを思えば心臓の筋肉の一部が壊死して動かなくなりますし、心筋症という心臓の筋肉自体の病気でも心臓の動きは悪くなって心不全になります。一部の不整脈も心臓に負担をかけて疲れさせ、心不全の原因となります。

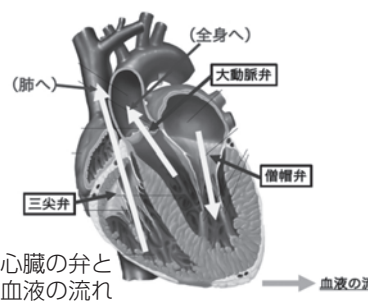
弁膜症も心不全の原因の1つです。心臓の中には血液が戻ってくる大静脈から、肺を挟んで心臓の4つの部屋を経て、全身に血を届ける大動脈に至るまでに4つの弁があります。これらは心臓が収縮して血液を送るとき逆流防止弁の役割をしており、うまく開いたり閉じたりすることによって



血液は小さな心臓の力で全身にまで行き渡るよう送り出されるのです。この弁がしっかりと閉じなくなると心臓が収縮しても血液はうまく前に進まず、結果として心臓の負担が増し心不全となっていきます。

かつて弁膜症の治療は手術で弁を人工のものに置き換えるしかなく、その手術は心臓を止めてそこにメスを入れる大手術でした。現在では多くの患者さんで、カテーテルを使って胸や心臓を切らずに弁膜症を治すことが可能になってきています。市民病院には渡邊直樹先生、荒尾嘉人先生という弁膜症のカテーテル治療のエキスパートがおり、すでに650例以上の患者さんの治療を成功させています。以前から治療を行っている僧帽弁・大動脈弁に続いて、この8月には岐阜県で初めて三尖弁の治療を成功させました(図)。これらの治療により将来の心不全の発生を防ぐことが期待されます。

今後、高齢者の数が増加していくとともに、心不全で苦しむ方は激増してくると言われ、医療者の間では「心不全パンデミック」として心配されています。「パンデミック」というのは大流行という意味で、コロナが流行した時「コロナ・パンデミック」と言いましたね。心不全は感染しませんが、一時期のコロナの患者さん並みに心不全の患者さんがたくさん現れるようになるということを意味します。これを少しでも防ぐためにも、心不全の症状が出る前に見つけ出し、心不全にならないように治療することの大切さが叫ばれています。



コラムで取り上げてほしい話題などは、入力フォームへ

